

病院・医療戦略

世界最高水準の教育研究拠点を目指し、未来医療の創出と人材育成を行っています。また、臨床研究中核病院として、日本発の革新的な医薬品や医療機器の開発に向けて、国際水準の基礎・臨床研究や医師主導治験の推進や、地域医療を支え、健康寿命の延伸とウェルビーイング向上への貢献にも取り組んでいます。

TOPIC

将来にわたって持続可能な経営基盤の確立に向けて取り組むことを目指して、「大学病院改革プラン」を策定しました。（→P.112「大学病院改革ガイドラインを踏まえ大学病院改革を強力に推進」）

神戸から世界に発信する 強靭で柔軟な未来医療の創出と全人的人材育成



グランドデザイン

世界を見据えたinnovationを創出できる病院、国際的＆地域医療の現場で強いリーダーシップを発揮できる人材を育成できる病院へと飛躍

基本理念の達成

戦略性と長期展望

良質な最先端医療の提供と
ハブ化・国際化

情熱に満ちた
人材の育成・輩出

革新的な医療
イノベーション

揺るぎない
財政基盤を確立
診療活動による経営安定化
外部資金の一層の獲得

大学病院改革プラン
病院機能の強化

病院戦略室

運 営

- 病院長のガバナンス強化
- ・病院戦略室の機能強化
- ・院内外の医療情報分析推進
- ・戦略的広報の実施
- ・優秀な人材の確保

診 療

- 病院機能・施設の戦略的再開発
- ・医療安全、標準化・質の向上
- ・地域中核病院としての機能強化
- ・救命救急センターの活性化
- ・国際医療体制の整備

教 育

- 人材育成支援体制の強化
- ・ノンテクニカル・スキル教育
- ・病院経営学分野の強化
- ・関連病院との教育連携の強化
- ・教育機能の評価体制の整備

研 究

- 臨床研究中核病院としての発展
- ・治験・特定臨床研究の充実
- ・ICCRCのリサーチホスピタル化
- ・医療創成工学専攻との連携
- ・全学組織との連携の強化

大学病院改革ガイドラインを踏まえ大学病院改革を強力に推進

医師の働き方改革、最先端医療の推進、高度医療人材の養成、地域医療機関等との連携強化、医療DXを活用した業務の効率化、持続可能な病院経営、施設・設備の戦略的整備等を強力に推進

運営改革

高度な臨床研究と最先端医療の提供を両立するため、病院長のマネジメント機能の高度化を実現

【病院長のマネジメント機能の強化】

- ・情報分析等を行う体制を強化して、職員の病院経営に対する意識改革を図り、病院長の**エビデンスに基づく意思決定**を支援

【大学本部、医学部等関係部署との連携体制の強化】

- ・病院長が**副学長（病院担当）**として大学運営に参画し連携を深化
- ・大学病院、医学部、大学本部等の構成員による「**病院経営会議**」にて密な情報共有と課題解決を実現

【人材の確保と待遇改善】

- ・専門人材としての**病院事務職員の養成とキャリアパス**の実質化
- ・ベースアップ評価料を財源にした**職員の待遇改善**と人材確保

教育・研究改革

高度医療人材養成機能としての臨床教育の質の向上と臨床研究中核病院としての新たな医薬品・医療機器等の開発

【高度医療人材の養成】

- ・最先端医療機器導入による**診療参加型臨床実習や臨床研修・専門研修プログラムの充実・高度化**

- ・初期臨床研修と大学院の並列を可能とする「大学院・早期研究スタートプログラム」の実施など、**リサーチマインドの醸成**

【企業等や他分野との共同研究等の推進】

- ・**臨床研究中核病院**として、日本発の革新的な医薬品や医療機器の開発に向けて、臨床研究推進センターが中心となって国際水準の基礎・臨床研究や医師主導治験を推進
- ・日本初の**国産手術支援ロボット「hinotori」**の開発実績を活かし、産学医連携による最先端医療機器の研究開発を推進
- ・教育・研究支援者（TA/RA等）を活用し**医師の研究時間を確保**
- ・TA/RAにICT教育を実施し、**研究領域へのICT導入**を推進

診療改革

大学病院としての最先端医療の提供及び兵庫県内の医療の最後の砦として機能し続けるための診療体制の再構築

【最先進医療の推進】

- ・「**hinotori**」によるロボット支援下手術、スマート治療室「**xSCOT**」を活用した**難治性疾患治療**や**低侵襲治療**等の最先端医療を推進

【兵庫県等との連携強化、地域医療機関への医師派遣】

- ・地域において重要な役割を担い、かつ長時間労働医師が在籍する県内医療機関に対する**兵庫県と連携した診療支援体制**の構築
- ・神戸市と連携した外国人患者受入れ体制の強化と**国際交流の推進**
- ・医師不足地域・へき地への**医師派遣**の継続による地域医療の確保
- ・**働き方改革の実践による教職員等の労働時間短縮の推進**
- ・ICTの導入による診療環境のスマート化（**医療DX**）やタスク・シフト／シェアの推進による**時間外労働時間の短縮**

財務・経営改革

中長期の収支計画に基づく財務ガバナンス機能の強化と、医療DXを活用した経営改善活動の継続的な実践

【収入増による取組の推進】

- ・病院長をトップとした「**病院戦略室会議**」において経営上の課題をタイムリーに議論し、課題解決に向けた改善策を立案
- ・「**情報分析推進室**」を整備し外部コンサルタントとの協働により、診療科ごとの診療実績の分析、データに基づく病院経営モデルの実践

【施設・設備及び機器等の整備計画の適正化と費用の抑制】

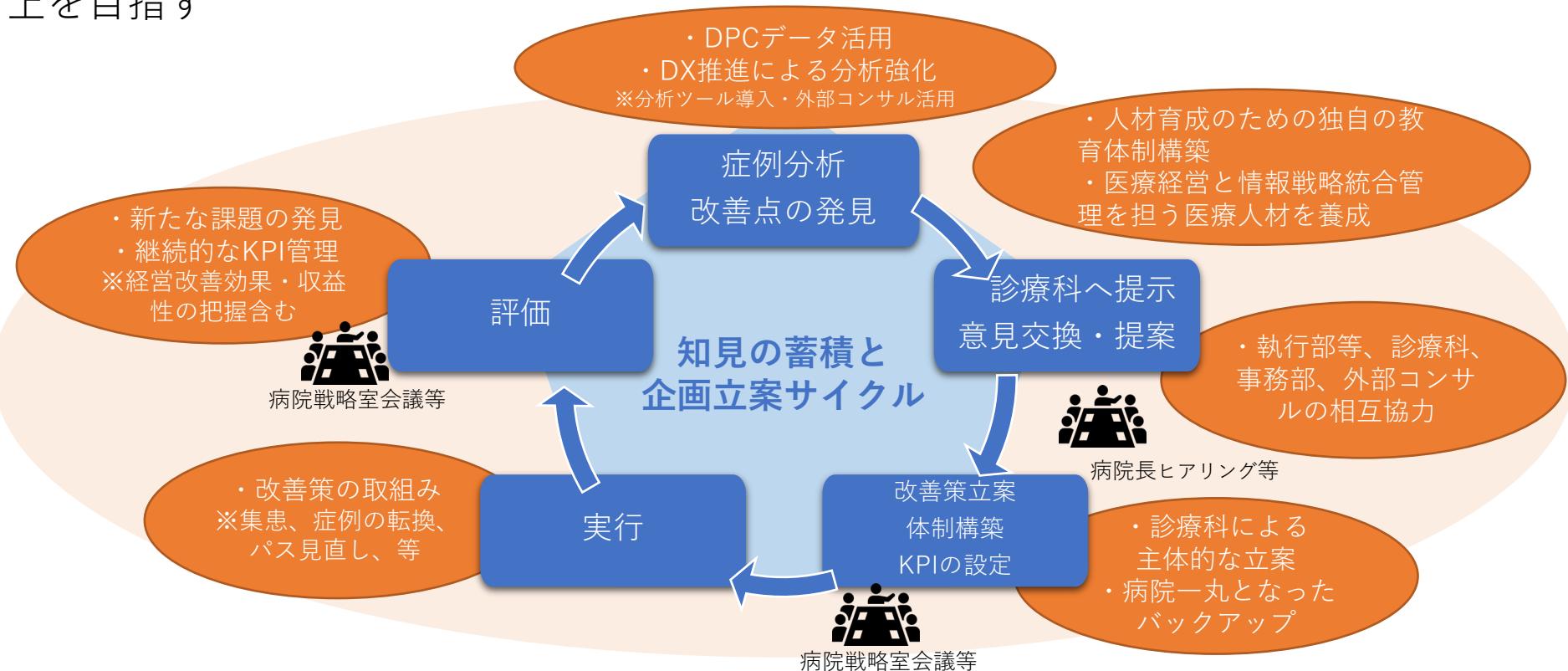
- ・トータルコストの縮減や予算の平準化を図り、省エネルギー・維持管理費の抑制も踏まえた**インフラ長寿命化計画**を策定
- ・**設備マスタープラン**に基づく計画的かつ効果的な設備投資の実行

【医薬品費、診療材料費等に係る支出の削減】

- ・在庫の適正管理等を通じた医薬品費比率、診療材料費比率の低減化

【運営】戦略性と長期展望

- 各診療科の診療実績分析に基づく経営改善方策の立案・実行（PDCAサイクル）
各診療科の実績を地域・全国のDPCデータ等に基づき疾患別に分析し、さらに外部コンサルタントによるデジタル技術の知見等も活用しつつ、本院の持つ高い専門性をさらに発揮するための経営改善方策を立案・実行し、病院一丸となって診療実績の向上を目指す



- 情報分析等を行う体制を強化し、病院長のエビデンスに基づく意思決定を支援
- 次世代の病院運営・経営を担う医療人材**の育成とキャリアパスの多様化

ICCRC



- ・次世代医療、次世代新薬、先端医療機器、先進的外科的治療
- ・特殊病床（治験医療専用）体制

良質な最先端医療の提供

総合医療

低侵襲医療
難治性疾患
治療

個別化医療
健診と検診

医学部附属病院



- ・高難度最先端医療の安全な提供
- ・兵庫県と連携した診療支援体制の構築
- ・診療参加型臨床実習の充実

ハブ化

- ・兵庫県と連携した診療支援体制の構築
- ・医師派遣の継続による地域医療の確保



神戸大学

国際化

外国医療人材の育成、
医療インバウンドを含む医療の国際展開

インバウンド

- ・外国人患者の受入れ整備
- ・海外ビジターの受入れ支援

アウトバウンド

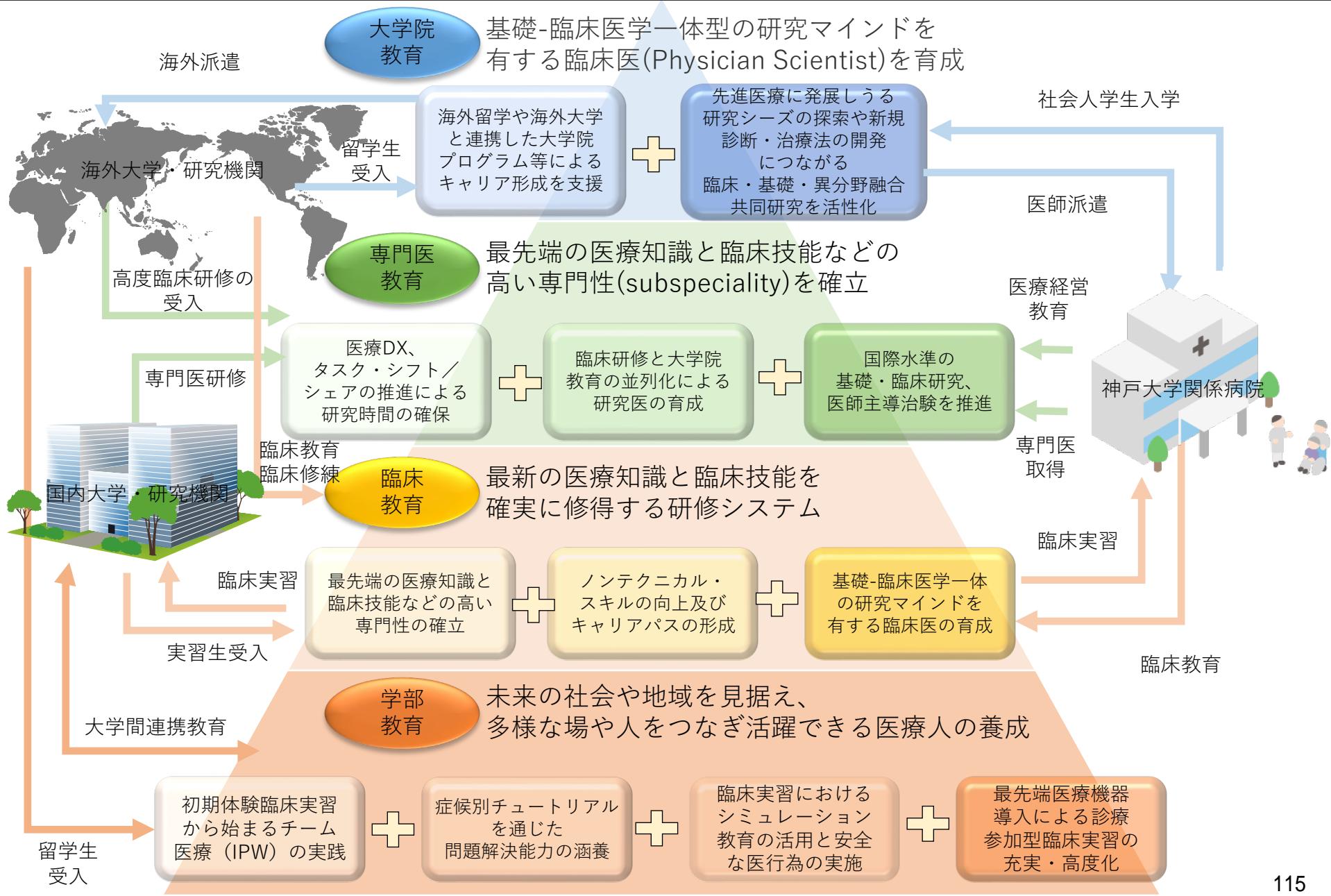
- ・海外への学術・技術指導、
国際共同治験

教育・研究

- ・国際医療を担う人材育成

地域医療の「最後の砦」として、高度な医療の提供や先端的な臨床研究を推進

【教育】情熱に満ちた人材の育成・輩出 ～サステナブルな臨床教育・専門教育の実施～



【教育】情熱に満ちた人材の育成・輩出 ～地域医療活性化センターを中心として～

兵庫県と神戸大学が一体となって、医師・看護師をはじめとする医療人材の卒前～卒後教育研修を一貫して実施することにより、県内の地域医療を支える人材の養成を図る

兵庫県

地域医療支援センター

ウェルビーイング先端研究センター
およびデジタルバイオ・ライフサイエンス・リサーチパークとの連携

- ・地域医療における生命科学・医薬分野・医療経営の研究教育拠点
 - ・大学の知的資源を生かしたAI・IoT・ビッグデータ解析などの地域医療への応用の研究教育拠点
 - ・ロボット手術(hinotori導入)や高度先進医療の地域医療現場への普及の研究教育拠点
 - ・ウェルビーイング関連の教育・研究・地域活動
- 県下の地域医療に貢献する
医療連携と医療情報

神戸大学医学部

2014年設置

地域医療活性化センター

連携

兵庫県養成医ユニット
(卒前・卒後ユニット)

教育研修・技術指導・
スキルアップ

- ・兵庫県養成医・地域枠医学生に対する教育および研修支援
- ・義務年限後のキャリア相談
- ・活性化センターを活用した教育・研修
- ・神戸大学と地域拠点病院を結ぶ臨床および教育コンテンツの配信

臨床基本技術トレーニングセンター

県下の医療関係者に最新の医療技術習得機会を提供

病理診断技術トレーニングセンター

病理・細胞診専門医の育成研修

先端外科医療・内視鏡トレーニングセンター

鏡視下手術、低侵襲治療、内視鏡・腹腔鏡手術、カテーテル治療等の高度な手術手技と一般外科的手技育成研修
hinotoriを導入しロボット手術の実践的指導も可能

遠隔画像診断支援センター

地域医療機関に対する遠隔放射線画像診断の支援

エキスパートメディカルスタッフ育成センター

地域医療に従事する中堅メディカルスタッフに対する高度な知識、技能習得の支援

歯科医療トレーニングセンター

県下の女性歯科医師等に対する職場復帰支援

D&Nplusプラスアップセンター(医学部附属病院)

女性医師等の県下医療従事者に対する職場復帰支援

活性化センターを活用し、兵庫県民の健康寿命の延伸と新たな医療基盤の創造を目指す

D to D 遠隔医療を推進し、地域医療における診療支援、人材育成を推進

兵庫県下で医療従事者(休職者を含む)にICT技術を活用した教育システム(リカレント教育)の構築

へき地を含め勤務医師・学生(県養成)のキャリア形成支援の推進を図り、在宅医療の充実の支援

地域医療活性化センターの教育・研修機能の活用による医療人材の資質向上

地域ニーズの高い分野(総合診療・救急医療・感染症等)を有機的かつ横断的に学べる生涯教育

【研究】革新的な医療イノベーション ～臨床研究中核病院・橋渡し研究拠点*としての役割～



・研究大学としてのステータス向上

トップジャーナルへ掲載される臨床研究論文数の増加
「研究大学強化促進事業」継続への指標面貢献

・国民利益の増大につながる研究の増加

非臨床段階から臨床研究への橋渡しの推進
医師主導治験、先進医療を通じた薬事承認/保険医療化の推進
学内で行われるライフサイエンス研究の成果の実用化促進

・大学の運営基盤の安定化

臨床研究や橋渡し研究等に関連した収入増加によるサステナビリティの確立

・国際臨床研究開発拠点の形成

オール神戸による国際共同治験のハブ機能の強化
ガイドラインに貢献する医療エビデンスの創出

・優れた研究支援人材の育成・輩出

臨床試験の高品質化のさらなる推進
関西地区を中心とした幅広い他施設支援のノウハウ蓄積

・世界に向けた先端医療技術の創出・普及

早期・探索的臨床試験実施体制の構築とさらなる推進
本学が世界をリードする技術(核酸医薬、経口癌ワクチン等)の早期実用化

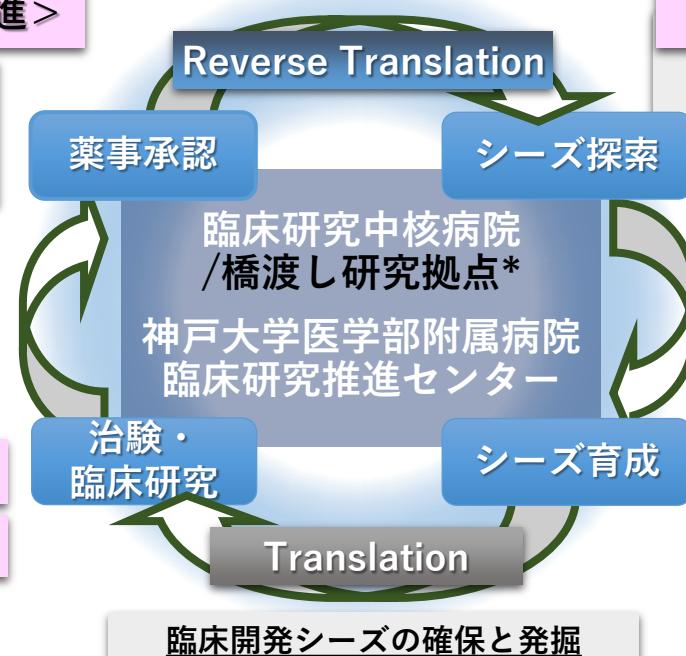
医学のR&Dライフサイクル

<製品開発プロジェクトの推進>

臨床研究の高品質化
中核病院要件の維持と発展

<国際共同治験の推進>

<地域連携による大規模試験推進>



<総合力>

総合大学の強みを生かした
強力な連携体制による研究開発推進

<シーズ発掘>

橋渡し研究拠点機能による
研究シーズの早期把握・集約

学内外との連携

<医工連携によるものづくり>

<希少疾病を対象とした創薬>

<神戸医療産業都市推進機構との連携>

2030年までのロードマップ

中期計画期間	第4期						第5期	
年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028~2030年度	
【運営】 戦略性と長期展望	病院戦略室の機能強化による病院長がリーダーシップを発揮できる体制の強化、大学病院改革プランの評価体制の整備						未来 神戸から世界に発信する 医療の創出と全人的人材育成	
	ビッグデータ集積拠点となり、円滑でシームレスな診療ネットワークを構築するのみならず、経営力強化のための医療情報分析を展開							
	あらゆるステークホルダーに対して附属病院の理念・ビジョンを浸透させ、医療の質、患者・職員満足度の向上と病診（病病）連携を深化							
	職員満足度の向上と人材育成支援の双方から、魅力ある職場を構築し、優秀な人材を確保							
【診療】 良質な最先端医療の提供とハブ化・国際化	提供する医療サービスの結果を向上させ、患者満足度に寄与できるよう、医療安全の徹底、業務標準化の促進、医療の質を向上						未来 神戸から世界に発信する 医療の創出と全人的人材育成	
	高度急性期病院の役割を維持・発展できるよう、病院戦略室の主導の下、中長期的な戦略的投資を実施							
	二次、三次救急の受け入れを加速させ、地域医療に積極的に貢献							
	IT技術を含むインバウンド医療体制の拡充、神戸医療産業都市との連携深化等による国際医療機能の強化							
【教育】 情熱に満ちた人材の育成・輩出	ノンテクニカル・スキル教育の充実による医療安全の強化と人間性豊かな医療人を育成						未来 神戸から世界に発信する 医療の創出と全人的人材育成	
	医療経営をリードする人材を育成できる体制の整備を図るとともに、これを基礎とした附属病院の経営戦略を構築							
	基幹関連病院との教育連携を密にすることで人材育成と臨床研究の双方を活性化							
	人材育成支援に関する施策が目的を達成できているかを定期的にチェックするとともに、フィードバックを実施							
【研究】 革新的な医療イノベーション	非臨床段階から臨床研究への橋渡し、及び臨床研究のサポートの強力化を図り、医師主導治験や特定臨床研究の件数を増加						未来 神戸から世界に発信する 医療の創出と全人的人材育成	
	保険診療にとどまらず、院内に企業ラボを誘致し、医療産業都市機能を取り込み、リサーチホスピタル化を加速							
	医療創成工学専攻との連携により医療機器開発をリードできる人材育成を積極的に支援							
	全学組織との連携強化による新たな研究分野の開拓を通じ、研究力強化や外部資金の一層の獲得							

リサーチホスピタルの展開

～国際がん医療・研究センター（ICCRC）～

2030ビジョン

先進的医療・革新的医療機器の開発拠点

hinotoriを核とした次世代・未来医療システムの創出

◆低侵襲・先進的外科手術

～プレシジョン・テレサージェリーセンター～

- ・内視鏡手術センター
低侵襲手術の積極推進
- ・ロボット手術センター
5G遠隔手術実用化に向けた臨床検証
- ・スペーサ手術等での放射線・粒子線治療への展開
- ・スマート治療室「xSCOT(エクスコット)
(Smart Cyber Operating Theater)」を活用した最先端医療

◆医工連携

～未来医工学研究開発センター～

- ・令和5年度Jイノベ地域オープンイノベーション拠点選抜制度 地域貢献型拠点として選抜（経産省）
- ・新規医療材料の臨床導入
- ・医療創成工学専攻との連携により医療 機器開発人材および医工連携人材の実践教育と輩出

◆再生細胞医療・遺伝子治療の医療拠点・個別化医療

- ・Cell Processing Center（細胞製造・加工）による最新医療研究・開発・治療をサポート
- ・プロセスの自動化による医工連携（QbDに基づく品質保証）
- ・デザイン/スマート細胞研究開発による新規シーズの創出（神戸大学BTセンターとの連携）

◆先進的診療

- ・がんに対する光免疫療法

新規技術を

積極的に取り込んだ医療拠点

医療現場ニーズの明確化と実装
新たな診療/管理技術の積極的導入

トップレベルの リサーチホスピタルを目指す



①先進的治療

②医工連携による 機器開発と人材育成

③データヘルスの推進

により世界に貢献する

神戸医療産業都市での イノベーション創出・地域活性化

神戸未来医療構想を継続し、就労機会の創出や
メディカルクラスター群との連携を強化

◆AI・デジタルヘルス対応病院

・メディカルトランスフォーメーション研究センターとの連携

・AI対応病棟の拡充

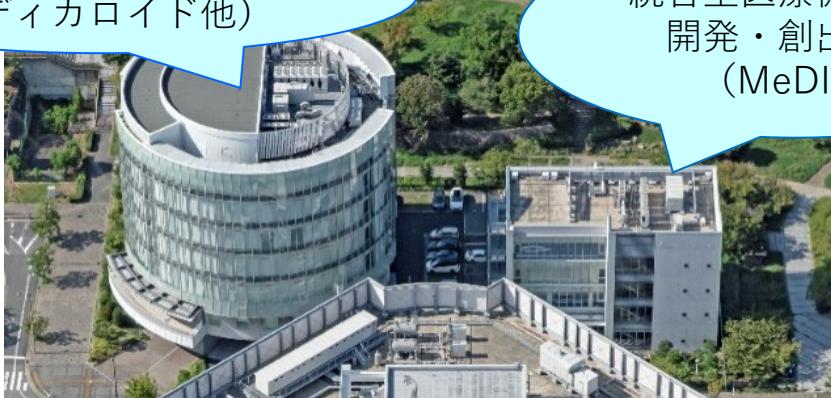
・デジタル技術を活用して国際診療を推進



医療機器開発エコシステムのプラットフォームの構築 ～メドテックイノベーションセンター（MIC）～



レンタルオフィス
(メディカルトイド他)



統合型医療機器研究
開発・創出拠点
(MeDIP)

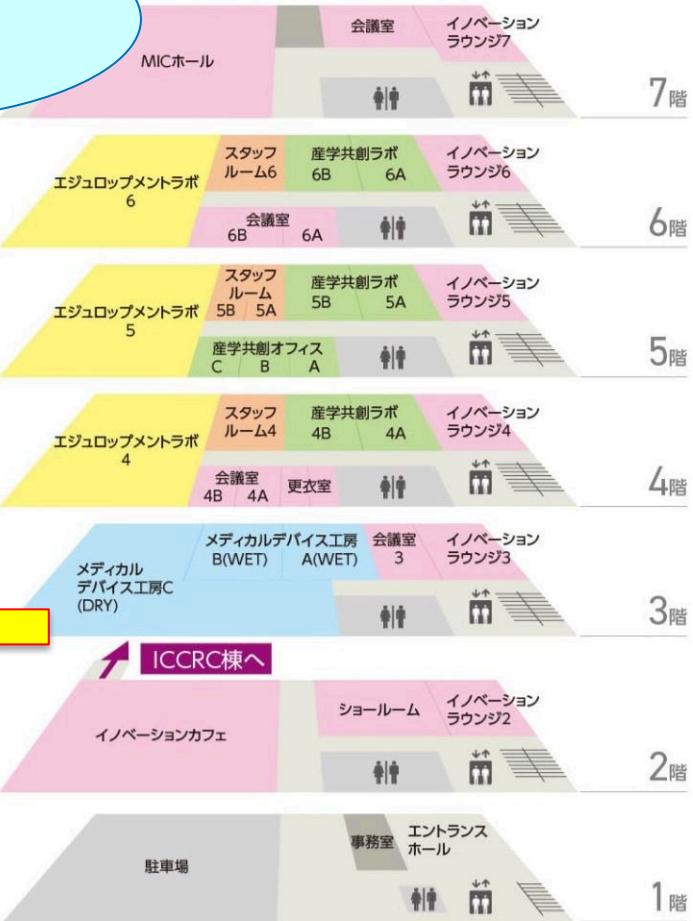
国際がん医療・研究
センター
(ICCRC)



神戸バイオテクノロ
ジー研究・人材育成
センター
(BTセンター)

メドテックイノベーション
センター（MIC）

フロアマップ



【MICの基本コンセプト】

1. 医療従事者・工学系研究者・医療機器メーカー・ものづくり企業等の共同研究開発の場 (=総合知)
2. 隣接する臨床現場や非臨床研究実証拠点（MeDIP）を活用した戦略的医療機器開発の場
3. 医療機器の開発・社会実装を主導できる人材育成の場
4. 医療機器開発のエコシステム構築による持続的な産業・雇用創出の場

2030年までのロードマップ（ICCRC）

中期計画期間	第4期						第5期
年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028～2030年度
先進的 治療	手術支援ロボット「hinotori」を核とした次世代・未来医療システムのニーズ探索～創造						トッ プ レ ベル の リ サ ー チ ホ ス ピ タ ル を 目 指 す
	内視鏡手術センターでの低侵襲手術の推進						
	プレシジョン・テレサージェリー・センターでの高速通信技術による遠隔手術臨床検証・手術支援ロボットへの実証研究、薬事申請目途						
	スペーサー手術等での放射線・粒子線治療への展開						
	光免疫療法・がん免疫療法・新規治療法開発の推進						
	光免疫治療センターでの研究推進、多診療科への展開						
	再生・細胞医療・遺伝子治療の研究・開発推進、新規シーズの創出、医工連携による細胞製造機器開発						
	神戸未来医療構想を継承し、就労機会の創出やメディカルクラスター群との連携を強化						
医工連携による 機器開発・ 人材育成	新専攻設置準備		医療創成工学専攻（医工融合型新専攻）設置				
	新学科設置準備		医療創成工学科（医工融合型新学科）設置				
	現場ニーズの明確化、新規医療材料の開発・臨床導入、在宅・無侵襲診断機器の開発						
	研究教育棟の増設、医療機器開発人材および医工連携人材の実践教育・輩出						
	ヘルスデータの利活用						
データヘル スの推進	バイオリソースセンターでの研究・開発ニーズに沿ったヒト検体・医療情報の収集と利活用・バイオマーカー同定						
	ヘルスリテラシーの意思決定支援システムの実装						
	リキッドバイオプシーを活用したがん予後予測モデルの構築						
	ヘルスケアデータの統合解析による疾患予防アルゴリズムの開発						
	メディカルトランスフォーメーション研究センターとの連携						
	AI・対応病棟への拡充						
	デジタル技術を活用した国際診療の推進						